

◇学外学術・広報活動

[はじめに]

教育・研究を目的とした大学附属機関である栄養クリニックは、一般市民に食生活や健康に関する情報提供を行うだけでなく、専門領域の機関や施設から出張講演や取材などの要請があれば、大学での研究成果を社会に広く還元する学術・広報活動の一環として受け入れている。

本年度は、下表に示すように出張講演3件、出展2件（中信はp.47に記載）、新聞取材5件（食with関連はp.4に記載）、雑誌取材5件、奈良女子大学生との交流会などがあった。

実施日時	依頼内容・講演（取材） 題目・講師（担当）	対象者／取材社	開催場所
5月16日（木） 10時～13時	奈良女子大学生生活環境学部食物栄養学科と本学食物栄養学科との交流会 ・講義 「京都女子大学栄養クリニックの取組」 講師 副栄養クリニック長 木戸詔子	奈良女子大学食物栄養学科学学生、院生11名、教員2名 本学食物栄養学科学学生、院生11名	栄養クリニック
5月25日号	新聞取材 ・各分野専門家によるアドバイス 「集中力をつけるには ～食生活～」 副栄養クリニック長 木戸詔子	京都リビング新聞	
7月号 9月号	JA 京都広報雑誌「ばあとなあ～」取材 ・一汁三菜は栄養バランスのとれた食事？ ・食事で貧血を予防・改善できる？ 副栄養クリニック長 木戸詔子	JA 月刊誌「暮らしの疑問すっきり！」 コラム (株)北星社出版	
7月25日号	雑誌「AERA」取材 京都女子大学 by AERA 社会貢献としての栄養クリニック紹介	朝日新聞出版社 料理教室実施風景取材	栄養クリニック
7月発行	京滋骨を守る会ニュースNo.2 取材 骨粗鬆症予防の講演・料理教室実施の紹介	NPO 法人 京滋骨を守る会	栄養クリニック
8月1日号	本願寺新報取材 ・8月特集号 いのちの大切さ 成長期の子に調理体験 ～食事は健康な心と体のかけ橋～ 副栄養クリニック長 木戸詔子	本願寺新報社 親子クッキング実施	栄養クリニック
8月21日号	読売新聞取材 「朝食にとって健康、笑顔に」	京都読売新聞社	
10月20日	京都市東山区歯科医師会主催「歯の広場」 ブース出展「嚥下食への誘い」 講演「口から食べることの大切さ」 講師 栄養クリニック指導教員 宮崎由子	東山区総合庁舎	東山区総合庁社
10月30日号	新聞取材と料理の紹介 くらし塾 ～ロコモを防げ～ 栄養クリニック長 田中 清 副栄養クリニック長 木戸詔子	京都新聞社 料理実習の取材	栄養クリニック

11月7日号	雑誌取材「週刊文春」 ・骨粗しょう症はこうして防げ 栄養クリニック長 田中 清	週刊文春	
11月号	京都中央信用金庫社内誌「中信ビジネスフェア2013年」栄養クリニックの紹介	京都中央信用金庫 出版部	
2月21日号	新聞取材 「美容に効く食べるオイル」 副栄養クリニック長 木戸詔子	京都リビング新聞 ／シティリビング	
3月13日	NPO 法人京滋骨を守る会共催 骨粗鬆症予防のための料理教室	京滋骨を守る会会員 16名	栄養クリニック
3月17日	青年期から壮年期にかけてのライフステージ 別栄養教育 食生活の注意点とアドバイス 講師 栄養クリニック指導教員 中山玲子	保健師 14名	上京保健センター
3月18日	保健師研修会～潰瘍性大腸炎・クローン病等 の難病者の食事管理～ 講師 副栄養クリニック長 木戸詔子	保健師 140名	上京保健センター

下記のその一部を紹介する。

奈良女子大学との交流会

昨年度に引き続き奈良女子大学学生の訪問があり、本学学生と一緒に、3階講義室で栄養クリニックの活動実態について紹介後、質問を受けた。その後、学生間で自己紹介を行い、施設を見学し、実習室に移り4班に分かれてフリートークの交流会を開催した。また、希望者には骨密度などの栄養アセスメントを体験していただいた。奈良女子大生の感想を下記に示した。

- ・栄養クリニックが積極的に社会に向かって食の情報発信をし、その行動力に感激した。
- ・エレベーター、障害者用調理台、IH調理器、栄養相談室、ベビーシッターなどが完備した素晴らしい施設で、一般の方が利用しやすいように様々な企画や工夫を感じ羨ましかった。
- ・京女学生は、在学中から一般の方とコミュニケーションをとる経験を積み、管理栄養士の指導を見学できる素晴らしい施設で学べ、各自の目指す管理栄養士像が明確になり、進路選択や勉学向上のモチベーションに繋がり、まさに夢のクリニックで、無限の



講演の様子



交流会の様子

各自の目指す管理栄養士像が明確になり、進路選択や勉学向上のモチベーションに繋がり、まさに夢のクリニックで、無限の

